

平成 2 3 年 (2011) 6 月 1 7 日 ~ 2 1 日

平成 2 3 年度 (2011)

第 2 回出雲市議会 (定例会)

一 般 質 問 通 告 一 覧 表

平成 2 3 年度 (2011) 第 2 回出雲市議会 (定例会) 一般質問通告一覧表 目次

6月17日(金) 10:00 開会			6月20日(月) 10:00 開会			6月21日(火) 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	遠藤 力一	1～2	1	板倉 明弘	6～7	1	杉谷 寿之	11
2	米山 広志	2～3	2	小村 吉一	7～9	2	勝部 順子	12～14
3	原 隆利	3	3	珍部 全吾	9	3	西村 亮	14
4	川上 幸博	4	4	木佐 宏	10	4	飯塚 俊之	14
5	大国 陽介	4～5	5	坂根 守	10～11	5	狩野 正文	15
6	板倉 一郎	6	6	萬代 輝正	11			

平成 2 3 年度 (2011)

第 2 回出雲市議会 (定例会) 一般質問通告

質問者	9 遠藤力一		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1 . 島根原子力発電所 について	1 . 島根原子力発電所に対する市長の考え方を聞く。 2 . E P Z の見直しを求めているが、その範囲に認められることの住民の利益とは何か。 3 . 防災交通課の体制は今後どうする考えか。 4 . 仮定ではあるが島根原発が福島第一原発のような事態に陥ったら、住民はどのように行動すべきか伺う。	市長	
2 . 災害時の情報につ いて	1 . 災害時に重要なのは情報、現在デジタル防災行政無線の配置作業が佐田地区などで進んでいる。出雲地区は、C A T V ・ F M ラジオにより緊急時の情報伝達が行われるようになっている。地震や停電時の C A T V 有線網の脆弱性、F M ラジオの所有数の問題、さらに地域での緊急時連絡網で使われる有線電話は停電時に使えないことも分かった、携帯も繋がりにくくなる、出雲地区住民の安全を守るための今後の計画は。 2 . 住民データ情報の保全対策を伺う。	市長	
3 . 耐震化対策につ いて	1 . 地震対策として耐震化の促進が必要。学校については I S 値 0 . 3 未満の施設は早急に耐震化工事を行う必要がある。学校耐震化基本計画はどのように定めたのか。避難場所に指定されている体育館で、耐震性が確保されていない施設がある。地域との連携はとれているのか。また耐震化されている教室棟が避難場所に指定されていない理由を伺う。 2 . 耐震診断と改修の助成事業がある。募集戸数は一般診断が 2 戸、精密診断が 1 戸そして耐震改修工事が 2 戸で、改修工事に該当するためには、精密診断が必要となっている。6 月 1 0 日の応募締切で、2 3 年度は何件申し込みがあったのか、また	市長	

	<p>なぜ精密診断の助成は1戸だけなのか伺う。</p> <p>3. 出雲地区の中心部、都市計画税をかけられている地域で、昭和56年以前に建てられ耐震化基準を満たしていない家屋は何棟あるか。密集した家屋が多く住民の高齢化も進んでいる。防災上耐震化を積極的に促進すべきだ。都市計画税を有効に使い改修工事などの助成に充て、耐震化を促進し、安全な街づくりを進めるべきだ。</p>		
4. 火災警報器について	<p>1. 火災警報器設置が義務付けされた。65歳以上の独居または高齢者のみの世帯で、火災警報器が未設置の世帯、そのうち住民税非課税世帯の対象は3,800世帯だが、このうち何世帯に普及しているか</p> <p>2. 高齢者世帯は高齢者日常生活用具給付事業として警報器の無料設置がなされる。申請から設置まで約2週間、1か所だけの設置で所得によって設置負担が変わってくる、申し込みは何件あったか。なぜ広報いずもでの設置啓発時 2010年9月9日号、12月9日号、2011年4月20日号では、このことに触れられていないのか。</p> <p>3. 平成21年度に住宅用火災警報器給付事業1,300万円の予算が付けられ事業実施された。決算によれば725台の設置がされ2,442,801円が使われたようだ。目標世帯の5分の1しか設置されなかった理由は何か。残りは国に返還されたのか。この対象となった世帯については責任をもって設置すべきではないのか。</p>	市長	

質問者	24 米山広志		
質問事項	質問内容	答弁を求める者	記事
1. 幼稚園教育	<p>1. 専任園長と嘱託園長の人数</p> <p>2. 臨時非常勤職員の人数</p> <p>3. 正規職員の比率</p>	教育長	
2. 松枯れ対策	<p>検討される具体的な内容と、平成21年3月に「出雲市松くい虫防除対策基本方針」が決定されています。この基本方針との整合性は。</p>	市長	

3. 神門コミュニティセンター機能補完対策補助金	1. 過去5年間の補助金の取扱い 平成22年度に交付した補助金の扱い 2. 管理者はNPO法人国際交流フラワー21だが、施設運営は、株式会社サンフロラに業務委託がされているが、いつ業務委託されたか。 3. 平成22年度の神門自治協会は、この補助金が収支決算書に記載されたか。 4. 平成23年度の固定資産税の減免は検討するとのことであったが。	市長	
--------------------------	---	----	--

質問者	27 原 隆 利
-----	----------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 出雲市総合ボランティアセンターの活動	1. ボランティアセンターの位置付け 2. 今回の東北震災におけるセンターの活動と評価 3. 「新しい公共」の取り組みとしての評価 4. ボランティアセンターと行政とのかかわり方	市長	
2. 就学援助の実態と市の取り組み	1. 出雲市の実態 2. この制度の意義 3. 県別に見る所得と活用実態の不整合 4. 出雲地域の特異性と活用の工夫 5. 国との共調による制度活用の必要性	教育長	
3. 神門地区に見る地元対策のあり方	1. 電車基地、火葬場、エネルギーセンター等、公共事業における、神門地区に対する対策費の総額 2. エネルギーセンター建設にともなう、地元の保2、保3集会所への助成実態 3. 「フローらいずも」現「朱鷺会館」の建設の経過	市長	

質 問 者	14	川 上 幸 博
-------	----	---------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1．出雲市教育の基本方針について伺う	委員長の方針は 1．生徒・児童の健全育成 2．学校運営理事会 3．学校施設	教 育 委 員 長	
2．危機管理指針「災害」防止について	出雲市危機管理指針、出雲市地域防災計画、出雲市水防計画に記載されている風水害、土砂災害について伺う。 1．過去の豪雨や台風を参考にし風水害の想定概要が作成されていると思うが、想定規模を示して頂きたい。 2．公共の建物や水道などのライフライン施設の耐災化の進捗状況と今後の計画を。 3．がけ地や家屋がある溪流等の土砂被害対策の個所数と現在の対処状況、地域住民への周知状況。 4．自主防災組織の現状及び地域防災組織結成への推進及び地域での避難訓練の状況は。地域防災リーダーの育成に取り組む考えはないのか。 5．地域住民への避難経路や避難場所の確認、避難勧告についてどのように説明が行なわれているのか。また、説明会や研修会は毎年行われても良いのではないか。 6．新内藤川、午頭川河口の排水機揚水門の閉鎖時、5月11日、12日の豪雨で家屋の浸水被害は発生しないのか。	市 長	

質 問 者	7	大 国 陽 介
-------	---	---------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1．東日本大震災の被災者支援について	1．被災地への直接的な支援および出雲市に避難している方々への支援の状況を伺う。 2．岩手、宮城、福島各県で、家賃を国が負担し、2年間使える「民間住宅の借り上げ制度」が実施されている。被災県から他県に避難している人にも提供されるが、自治体間の調整がうまくいっていないとの情報がある。本市での対応状況を伺う。	市 長	

<p>2．エネルギー政策の基本認識について</p>	<p>1．原子力発電（核分裂によるエネルギーと放射能、高レベル放射性廃棄物の処理方法の未確立などの問題）と日本のこれまでの原子力政策（総括原価方式、発送電一体、原発監視機関と推進機関との一体化、地球温暖化防止策としての原発推進など）に対する市長の認識をうかがう。</p> <p>2．技術が確立されていない原子力発電は多くの問題を抱えている。今こそ原発依存から抜け出し、原発ゼロをめざすことを求めるが、いかがか。</p> <p>3．エネルギーの地産地消をめざし、太陽光、風力、水力、バイオマスなどの自然エネルギー（再生可能エネルギー）の普及拡大に向けて、最大限の知恵と力を注ぐべきと考えるがいかがか。今後の取り組み方向を含めて市長の認識を伺う。</p>	<p>市長</p>	
<p>3．島根原子力発電所の安全管理体制について</p>	<p>出雲市は島根原発から10キロ～30キロ圏内に多くの地域が入っている。このことと福島での状況を踏まえ、住民の安全を守る立場から次の点を伺う。</p> <p>1．1号機は建設から37年が経過しており老朽化している。現在定期点検中で停止しているが、再稼働を認めない立場を求めるが、いかがか。</p> <p>2．2号機のプルサーマル計画の中止を要求することを求める。</p> <p>3．10キロ圏内、20キロ圏内、30キロ圏内、40キロ圏内の人口と年齢構成、生活形態等、状況把握を求める。</p> <p>4．震災と原子力災害に備えるため、防災計画の抜本的な見直しを求める。併せて、原子力災害においての実施可能な避難計画が確立できる見通しがあるのか伺う。</p> <p>5．現在、中国電力との間で「連絡協定」が締結されているが、出雲市、中国電力、島根県との「安全協定」（本市が、重要事項の事前了解など、施設の稼働に関わる権限を持つことができる協定）の締結をねばり強く追求すべきと考えるが、いかがか。</p>	<p>市長</p>	
<p>4．生活保護の窓口対応について</p>	<p>1．相談者の立場に立った窓口での親身な対応を求めるがいかがか。</p> <p>2．1人のケースワーカーに対して何世帯を担当しているのか。</p> <p>3．職員の負担軽減とサポート体制の現状は。</p>	<p>健康福祉部長</p>	
<p>5．来年4月からの中学校での武道必修化について</p>	<p>1．学校の部活動等で柔道事故が多発しているが、必修化に向けた安全確保に万全を期することを求めるがいかがか。</p> <p>2．指導者の体制はどのようになるのか。</p>	<p>教育部長</p>	

質 問 者	1 2	板 倉 一 郎
-------	-----	----------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1．出雲市の新エネルギーおよび省エネルギーへの取り組みについて	1．新エネルギーへの取り組みについて (1) 新しく新エネルギー推進室を設置されたが、今後どのように取り組まれるのか伺う。 (2) メガソーラー誘致の状況について伺う。 2．省エネルギーへの取り組みについて (1) 出雲市の省エネルギーへの取り組み状況について伺う。 (2) 照明器具などの省エネ機器への取替えはどのようになっているのか伺う。	市 長	
2．第3セクターの改革状況について	21世紀出雲市行財政改革第2期実施計画のうち外郭団体の見直しについて次の点を伺う。 1．外郭団体の見直しの基本的な考え方を伺う。 2．出雲総合地方卸売市場の民営化の検討状況を伺う。 3．出雲典礼の事業のあり方の見直しの状況について伺う。 4．出雲ケーブルビジョンへの関与のあり方の見直しの状況について伺う。	市 長	

質 問 者	2 1	板 倉 明 弘
-------	-----	----------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1．運動を通じた健康増進と介護予防事業の拡充を求める	1．特定健康診査（メタボ健診）と特定保健指導の実施状況と今後の課題について 2．日頃の運動が医療費削減に結びつく事を実証するために医療費調査の必要性について 3．身近な地域での健康サークルづくりへの方策と支援について	市 長	
2．新しい健診センターとPET-CTが	1．新病棟の整備により新しく健診センターが開設されたが、市民の予防医療をどう充実させるのか。	市 長	

<p>んどックによる市民の健康保持と予防医療の充実について</p>	<p>2. PET-CTがんどックにおける市民の活用をどう図るのか。 3. PET-CTがんどックの助成金制度の利用状況について伺う。</p>		
<p>3. 新しい教育基本法が制定されて初めての教科書検定が行われた。今年度夏に行われる中学校教科書採択について</p>	<p>1. 自衛隊は憲法違反ですか。国土防衛や災害派遣で活躍している自衛隊を「憲法違反」と疑える集団という紹介をする教科書について、率直にどう考えますか。 2. 拉致問題は国民的課題であり許されない人権侵害・国家犯罪ではありませんか。そうした政府の方針の通りに記さず、北朝鮮による拉致問題が、北朝鮮との関係好転を阻害している問題であるかのような記述をしている教科書について、どのように考えるか。 3. 外務省の公式見解と異なる領土見解を唱える教科書をどのように思うのか。特に竹島や尖閣諸島を教えない教科書でいいと考えるのか。 4. 学習指導要領にて国旗・国家の意義と相互に尊重することが国際儀礼であることを理解させることを求めているが、数行で誤魔化して、きちんと教えていない教科書でよいと考えるのか。</p>	<p>教 育 委 員 長</p>	

<p>質 問 者</p>	<p>6 小 村 吉 一</p>
--------------	------------------

<p>質 問 事 項</p>	<p>質 問 内 容</p>	<p>答 弁 を 求 め る 者</p>	<p>記 事</p>
<p>1. 福島原発事故を経たの原子力発電政策について伺う</p>	<p>1. 福島原発事故(継続中)を経てもなおプルトニウムの循環使用と結びついた軽水型の原子力発電の継続をやめようとしていない。日本の原子力発電政策に対する市長の見解を伺う。 2. 1.の見解を踏まえながら、島根原子力発電の在り方をどう考えているのか。 (1) 経年著しい1号機について (2) MOX燃料を燃やす計画の2号機について (3) 新しく稼動する3号機について 3. 島根原発から市民の命とくらしを守る体制について伺う。 (1) 島根原発は、地震、津波などに本当に大丈夫と言えるのか。 ・宍道活断層、津波の引き波、地震などについて</p>	<p>市 長</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・気体廃棄物は、同心円には行かない。風向によっては、出雲市の海岸部などは直近。同心円災害対策についての見解は。 (2) 監視体制と広報体制について <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング体制など (3) 防災体制について <ul style="list-style-type: none"> ・どのようにしてどこに避難するか ・その計画と体制は (4) 医療や消防の体制は <ul style="list-style-type: none"> ・ヨウ素剤の学校への配布などについて (5) 災害復旧計画は <p>4.再生可能エネルギーへの大きな転換が求められている。その普及拡大への本市の今後の方向と取り組みについて伺う。</p>		
<p>2.学校教育後援会費について</p>	<p>1.学校教育後援会費徴収の実態について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 現在学校教育後援会費を受けている学校の数と受けていない学校について (2) 後援会費の直近の年度の本市の総額(小・中別に) (3) 徴収の平均と最高額と最低額(小・中別に) (4) 用途の大きな特徴は(小・中別に) (5) 徴収の方法は <p>2.学校教育後援会費についての委員会としての見解はどうか。</p> <p>3.義務教育無償の立場より、逡減または廃止の方向へ指導すべきではないか。自治会一括徴収や選択校区制などにより、いろいろな矛盾が生じている。</p>	<p>教 育 長</p>	
<p>3.特別養護老人ホームの増設について</p>	<p>1.特別養護老人ホームへの入所は大変困難である。特別養護老人ホームなどの老人福祉施設の現状について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 市内の特別養護老人ホームの数、定員は (2) 特別養護老人ホームの待機者数と今後の見通しは (3) 特別養護老人ホーム以外の市内の老人福祉施設の数と定員と現況は <p>2.今後、特老待機者の解消に向けての市としての方針と計画を伺う。</p>	<p>市 長</p>	

4. 「神門コミセン機能補完対策補助金」について	1. この件については、覚書を交わした三者協議（市、神門コミセン、国際交流フラワ-21）で決定することとしていたが、その顛末を伺う。 2. なぜそのようになったのか。 3. 市民への説明と謝罪を行うべきと考えるが、どのようにするのか。	市長	
--------------------------	---	----	--

質問者	32 珍部全吾
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 原子力発電所の今後の見通しについて	福島原発事故発生に対して 1. 島根原発30K圏内に位置する当市の首長としての見解について 2. 今後の原発についての所感 3. 廃炉後の施設の処分について 4. 原発事故が与える日本経済・当市経済への影響について 5. 原発に対する市民の不安感に対して行政が行う事は	市長	
2. 市内幼稚園の実態について	年々減少する幼稚園児について 1. 今後、小規模園の合併等の考えは 2. 長期的に減少傾向が加速することに対する対策は	市長	
3. 日御碕のホテル建設について	1. 現在の状況はどうか 2. オープンの見通しはいつか	市長	

質 問 者	4 木 佐 宏
-------	---------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
虚像長岡市政を斬る 第3弾 市民を苦しめ続ける 副市長ら軽薄未熟な執行体制を糾弾する	<p>1. 国富かんせん用水路事業において、当事者主権を侵害、不適切対処とウソと民意捏造で強硬推進、官民一体となって繰り広げられる、町内会組織の崩壊をも惹起する裏切り行為、町内会決議決定事項を一部役員が戸別訪問切り崩し(覇権主義行為 = 当事者主権意思を踏みにじる強要罪)で暴走する、市民不在の長岡市政の醜態の実情を暴き、事業エリア農民の即刻苦痛排除と児童生徒らのメインスクールゾーンのベストなる安全施策を改めて提言、傍観し続ける教育関係者らの偽善姿勢も追求する。</p> <p>2. 島根原子力発電所事故など、希薄な危機管理認識で予防防災施策に向き合う、副市長らの無責任執務姿勢を質し、豪雨など天災有事に際する行政としてあるべき万全指針を提言する。</p>	市 長	

質 問 者	20 坂 根 守
-------	----------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 市長就任時に職員にお願いした3S(シンプル・スピード・スマイル)の実現状況は	3Sそれぞれに具体的に現状をどう認識しておられるのか伺う。	市 長	
2. 田儀桜井家の越堂たたら跡の整備を早急に	平成21年に国指定の史跡になった、地元の期待は大きい。本格的な発掘調査を行い早く見学ができるようにし、東屋・駐車場の整備をすべきだが具体的な年次計画はどうなっているのか伺う。	市 長	

3. 多伎町の風力発電の修理は早急に	1. 建設時からの売電収入は 2. 故障は落雷によるものだが対策は 3. 今回なぜ修理に時間がかかるのか 4. 今後発電の見通しをどうみているのか	市長	
--------------------	--	----	--

質問者	11 萬代輝正
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 「北山健康温泉」の現状報告と関係者への対応について問う	1. 指定管理者の移行がなされたが、スムーズに問題なく進んだか。 2. 4月からの3か月が経とうとしているが、市としての把握と評価はどうか。 3. 地元との協力体制はどのような形で構築されているのか。 4. レストラン部門の契約は、どのような経過で、どのような結論に至ったのか。 5. 新たな指定管理者から提案された、観光面での誘客についての具体的な取り組みとはどのようなものなのか。 6. 地元をはじめ、関係者への経緯や今後についての説明はどの程度行われたのか。	健康福祉 部長	
2. 今年度の「合併特例債」充当事業と今後の使途について	1. 23年度の「合併特例債」の充当事業は、どのようなものがあるのか説明を。 2. 合併後6年が経過したが、既に終えた事業を予算と一緒に説明を。 3. 特例債の残は、今後どのくらいあり、既に予定されているものがあるのか。	市長	

質問者	33 杉谷寿之
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
出雲大社、平成の大遷宮が迫っている。市としての対応は。	1. 平成の大遷宮が、出雲大社により平成25年5月10日から催行され、奉賛会もスタートしている。この敬事に、出雲市としてどの様に対応していくのか、基本的な考え方を伺う。 2. 過去の歴史も踏まえ、現代の我々が成すべきことは何か。 3. 今後の取り組みを、具体的・時系列的に示されたい。	市長	

質問者	23 勝部 順子
-----	----------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 東日本大震災を教訓に、防災対策（地震など）の更なる充実を	<p>1. 防災教育の重要性</p> <p>岩手県釜石市は死者・行方不明者が約1,300人に上りましたが、市内の小中学生は独自の防災教育が功を奏し、ほぼ全員が無事に避難をする事ができました。釜石市で防災教育を始められたのは7年前。2008年度に文部科学省の「防災教育支援モデル地域事業」に採択され2010年度から市内の全14小中学校で津波防災教育が行われています。東日本大震災を教訓に、小中学生に防災教育を実施されることを強く望みます。これまでの状況と、今後の考えを伺います。</p> <p>2. 避難場所</p> <p>(1) 学校施設の防災機能の向上について。</p> <p>大規模地震などの災害発生時、学校施設は地域住民のための応急的な避難所となる役割も担っています。耐震性の確保は当然のこととして、食料・生活必需品などを提供できるように必要物資を備蓄するなど、避難生活に必要な諸機能を備える事も求められています。</p> <p>平成7年に阪神・淡路大震災を経験した神戸市と、19年に新潟県中越地震を経験した柏崎市の教育委員会が、震災時に避難所となった学校を対象に、防災拠点（避難所）として学校に必要なものを聞き取り調査し、データを公表しています。</p> <p>実際に震災を経験した両自治体のデータからは、学校施設で避難生活をしていくうえで、学校施設の防災機能に関する様々なニーズが存在する事が分かります。こうした実例を参考に、各自治体においても、耐震性能を強化するだけでなく、避難所としての防災機能を備えた学校施設として整備する取り組みが求められます。出雲市としても取り組まれる事を強く求めます。</p> <p>(2) 市のホームページに、災害時の避難所開設予定施設が掲載されています。市全体で279施設が災害時の際に開設が予定されています。そのうち116施設が地震災害の際は適用できないと判定されています。この現状で、いざという時</p>	市長	

	<p>に十分な対応ができるのでしょうか。予定されている避難所について見直しも含めて安全性の確保が必要です。市の考えを伺います。</p> <p>(3) 出雲市は、島根原子力発電所から30k圏内にあります。これからは、原発災害も想定した避難のことも考える必要があります。この点について市の考えを伺います。</p> <p>3. 災害（地震など）の備え対策</p> <p>(1) 東京都福生市では、地震による家具の転倒を防ぎ、大切な家族の命を守る事を目的に、平成21年度から23年度までの間、「家具転倒防止器具支給事業」に取り組まれています。先着で希望する世帯に対し、1回限りで合計15,000円相当の家具転倒防止器具を支給されています。</p> <p>高齢者や障がい者のみの家族構成で、自力での取り付けが困難な世帯には、無料で取り付け支援も行われています。災害時に、家具などの転倒から市民を守るための支援として取り組まれる事を要望します。</p> <p>(2) 高齢者や障がい者などが急病や災害などで動けなくなった時、駆けつけた救急隊員が迅速かつ適切に救援活動ができるよう、かかりつけ医や服薬内容などの医療情報を、あらかじめ自宅に保管しておく「救急医療情報キット」の導入が進められています。大切な命を守るために、出雲市でも取り組んでいただきたい。</p>		
<p>2. 人と動物の共生社会をめざして</p>	<p>少子高齢社会を背景に、犬や猫などペットへの関心が高まり、人間にとってペットは大切な家族の一員であり、人生のパートナーとも言われる時代になりました。</p> <p>国内で飼育されている犬と猫は、約2,200万匹に及びます。彼らは人間の心を癒し、様々な形で生活を豊かにしてくれます。一方では、ペットブームの陰で、捨て犬や野良猫が増え、年間28万匹が殺処分されている現実もあります。一日に、約800匹もの犬や猫のいのちが失われていることから、わが国は“動物愛護後進国”と指摘されています。</p> <p>2005年に「動物愛護管理法」が改正され、2006年には国が10年間で殺処分を半減させる基本指針を決め、結果、06年には34万匹だった殺処分数が、08年には28万匹にまで減った経緯があります。</p> <p>熊本市動物愛護センターでは、殺処分ゼロにむけた取り組みをされ全国から注目されています。</p> <p>1. 出雲市での現状（保健所に持ち込まれる犬・ネコをはじめとするペットたち）に</p>	<p>市長</p>	

	<p>ついて伺います。</p> <p>2．動物愛護団体への支援について、考えを伺います。</p> <p>3．熊本市では、殺処分ゼロにむけた取り組みの一つに、行政・獣医師会、動物愛護を推進する団体、動物取り扱い業者の代表、動物にかかる団体の方たちと、「動物愛護推進協議会」を設置し市民協働で取り組まれています。市でも取り組まれる事を望みます。</p>		
--	--	--	--

質問者	5	西村 亮
-----	---	-------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
島根原発の安全対策と出雲市の取り組み	<p>1．1号機、2号機の点検、稼働</p> <p>2．3号機の営業運転</p> <p>3．安全対策と課題（地震、津波、テロ）</p> <p>4．避難道の整備</p> <p>5．地区説明会</p> <p>6．電力会社職員のモラル（企業の倫理）</p>	市長	

質問者	1	飯塚 俊之
-----	---	--------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1．湯谷川の河川改修について	<p>1．5月11日の豪雨による平田船川・湯谷川の被害状況</p> <p>2．湯谷川の河川改修の見通し</p>	市長	
2．東日本大震災・福島第一原発事故における自治体対応と対策について	<p>1．自治体の災害対応で発生した事象、課題、対策 （例、事象：防災行政無線の未整備、課題：伝達手段の整備不足、対策）</p> <p>2．自治体の行政事務で発生した事象、課題、対策 （例、事象：住民票の提出不能、課題：複製の確保、対策）</p> <p>3．BCP（業務継続計画）の現状</p>	市長	

質問者	3 狩野正文		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
平成23年5月11日からの降雨による被害について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平田地域での道路、耕作地等の冠水被害状況はどのようであったか。 2. なぜ冠水被害が起こるのか。 3. 大雨のたびに被害がでる箇所は特定されているのか。 4. 冠水に対する対策本部の対応はどのようであったか。 5. 治水対策についてどう考えているのか。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 耕作地は遊水池と考えているのか。 (2) 排水機の運転経費は地元負担でよいと考えているのか。 (3) 災害対応は住民まかせなのか。 6. 治水対策についてどう取り組むのか。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 科学的な調査を行うのか。 (2) 短期的な対策と長期的な対策はあるのか。 	市長	